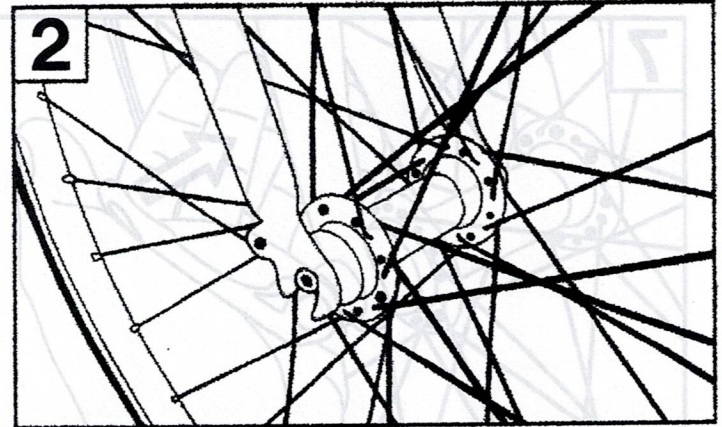
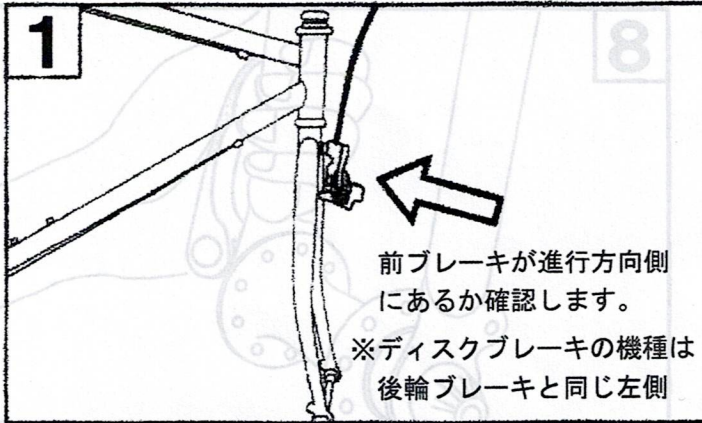
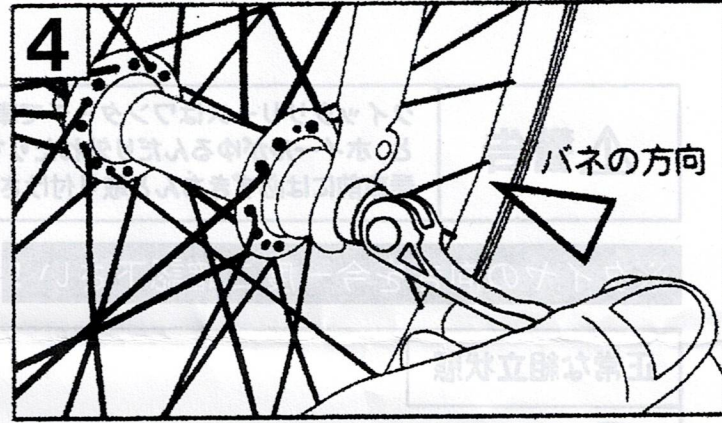
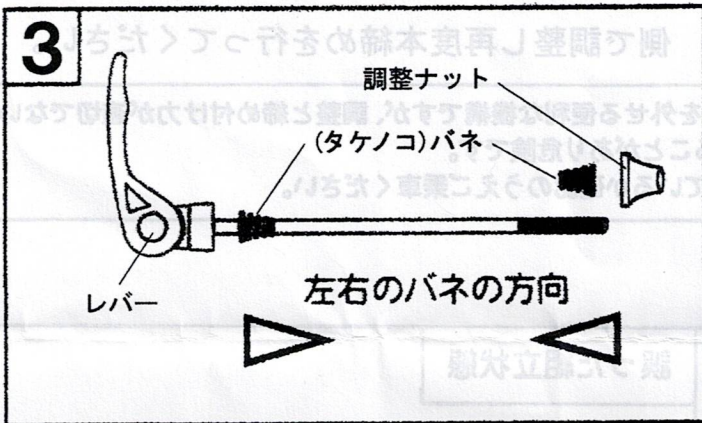




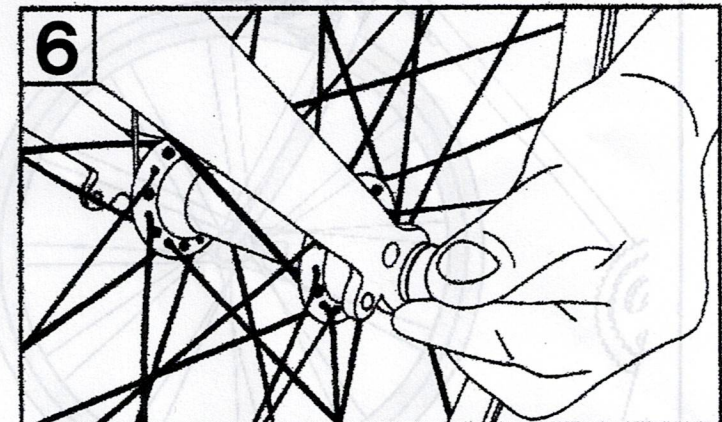
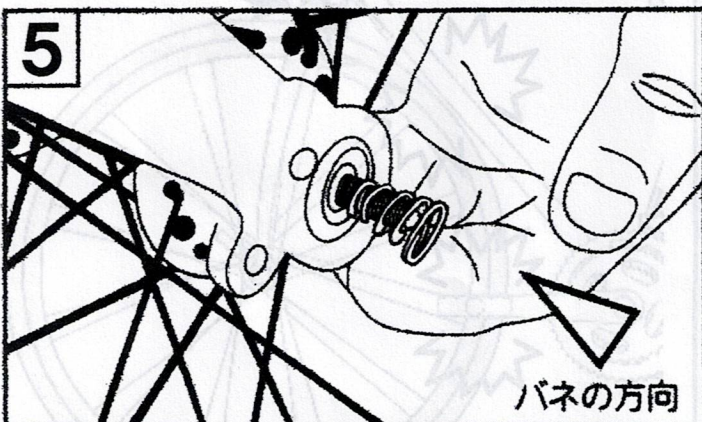
前輪を取り付ける前にフロントフォークが正しい向きか確認します。

図のようにフロントフォーク先端に車輪軸部の一番外側の部分を引っ掛けるように置きます。



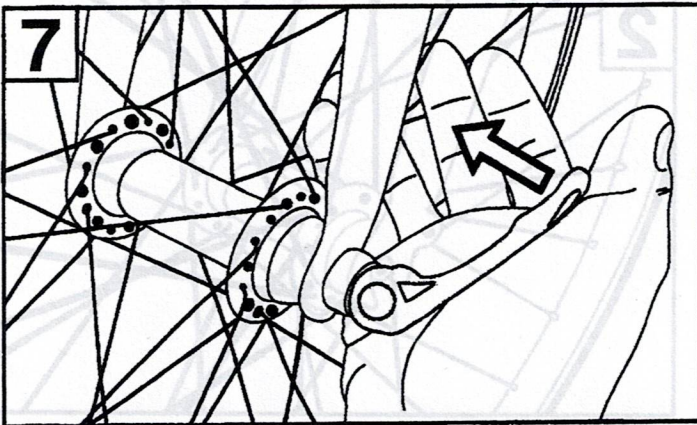
レバーとバネ（1個）を差し込みます。
バネの細い方が内側になるようにします。

レバーを図のような角度に固定しながら反対側にバネ（1個）そして調整ナットを取り付けます。

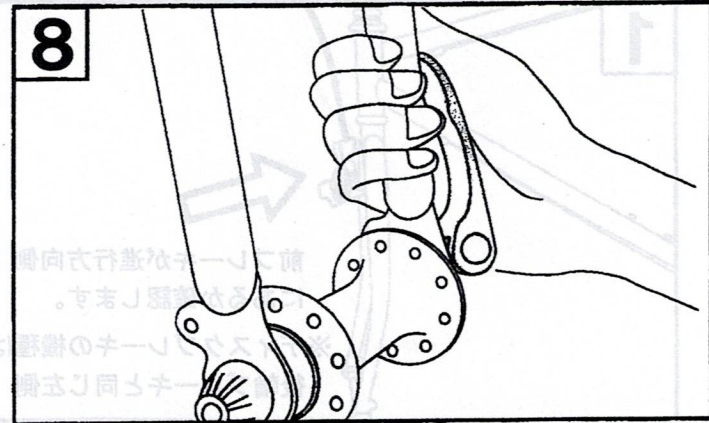


※バネの細い方が内側になるようにセットし調整ナットを取り付けてください。

調整ナットは指先で締められるところまで締め上げます。



最後にレバーを立て本締めします。
レバーはフロントフォークに沿わせるように
セットします。



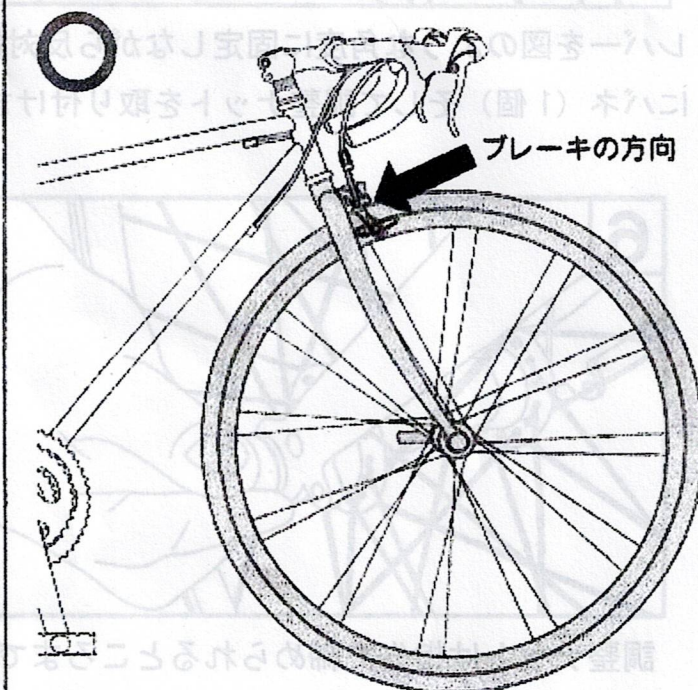
レバーのあとが手のひらに残るくらいの加減
でしっかりと締め上げて下さい。緩いまたは
きつい場合は一旦レバーを緩め、調整ナット
側で調整し再度本締めを行ってください。

⚠ 警告

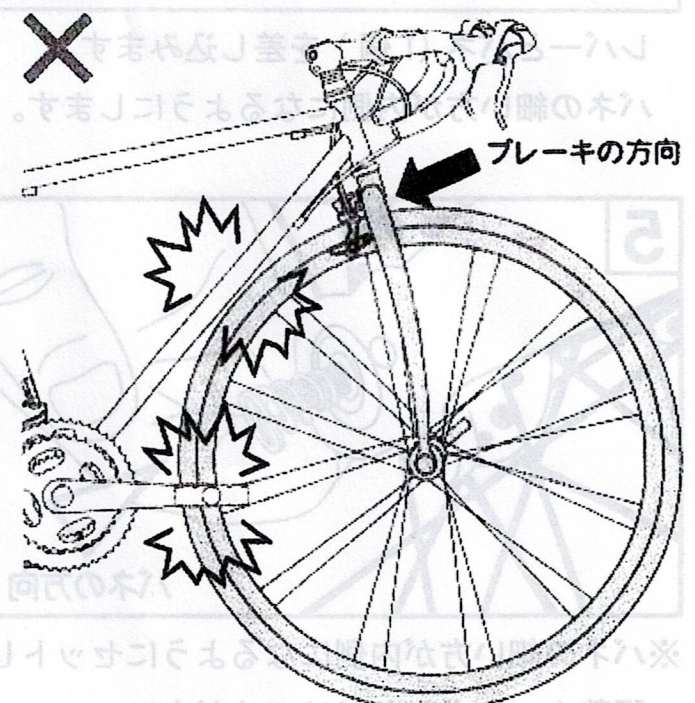
クイックリリースはワンタッチで車輪を外せる便利な機構ですが、調整と締め付け力が適切でないと、ホイールがゆるんだり外れたりすることがあり危険です。
乗車前には必ずきちんと取り付けされているか確認のうえご乗車ください。

※タイヤの向きを今一度ご確認ください！

正常な組立状態



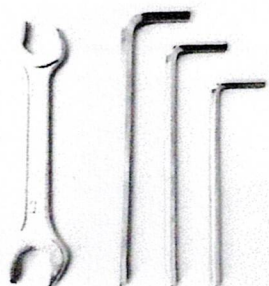
誤った組立状態



⚠ 危険

一部の車種において、前ホークの向きを逆向きにして梱包している車種があります。
前ホークが逆さまに取り付けられていると、前輪がフレームやペダルに接触する可能性があり大変危険です。必ず前ホーク・タイヤを正常な向きに直してから、組み立てを始めてください。

【同梱物の確認】



- 同梱物及び工具を確認します。
- ・簡易スパナ ペダルの取り付けに使用します。
- ・六角レンチ ハンドルの固定やサドルの固定に使用します。
- ・ペダル（L左用 R右用）
- ・ボルトキャップ等（錆防止にハンドル固定のボルトや後輪のハブナットに装着する樹脂製のキャップ）
- ・クイックリリースレバー ※対象車種のみ

※機種によって工具の個数、形状が異なる場合があります。

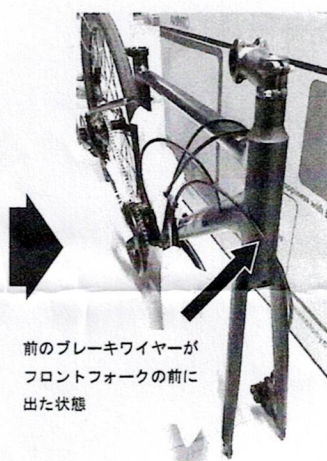
【組み立ての準備】



前のブレーキワイヤーが
フロントフォークの
うしろにある状態。

フロントフォークを
360度回転させます。

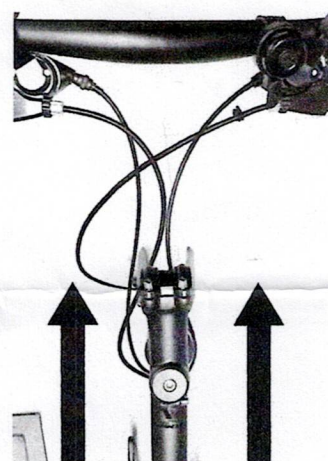
- 箱から取り出したらまずフロントフォークを反時計回りに360度1回転させ前ブレーキワイヤーを前方に回します。



前のブレーキワイヤーが
フロントフォークの前に
出た状態

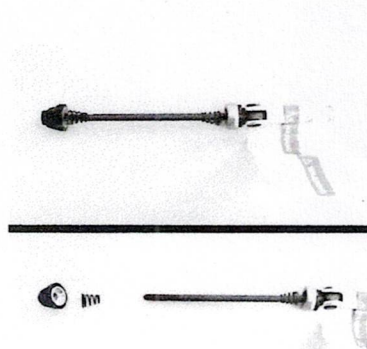


- アンカーボルトとクランプボルト（2カ所）を緩めステムを180度回転させ仮止めします。



- ハンドルのワイヤーを正しい位置にし前方に移動します。フレーム右側のワイヤーは右フレーム左側のワイヤーは左になるようにします。

【前輪の取り付け】



- クイックリリースレバーを図のようにキャップとバネ1個のみ取り外します。※装着時も内側のバネの細い方が中心になるように装着します。

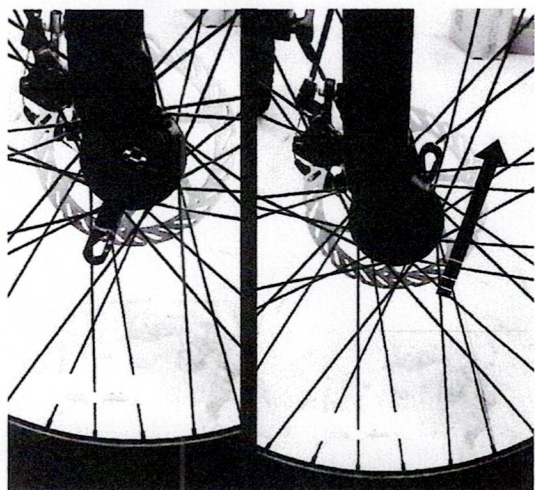
①



②

- フロントフォークの先端を前輪のハブ軸の一番外側に乗せます。キャップとバネ1個を取り外したクイックリリースレバーのレバー側を矢印の方向から差し込みある程度の硬さまで締め上げます。※片手でフロントフォークをスポークを握り固定しながら中心をとりながら締め上げて下さい。

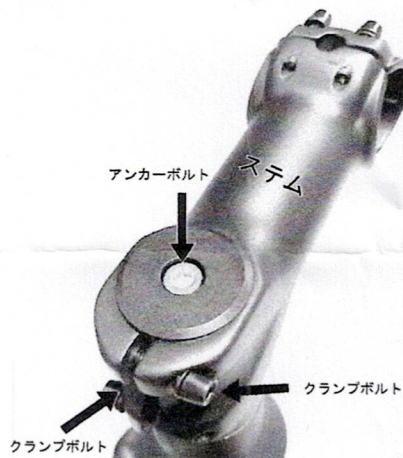
【前輪の取り付け】その2



- ③ ●最後にレバーを上を持ち上げ本締めします。
 ※てのひらを使ってレバーを押し上げる具合のかたさで締め上げて下さい。
 ※本締めの時にズレやすいのでフロントフォークとスポークを片手で握りしっかりと固定しながら本締めして下さい。

- ハンドルクランプ側のボルト4つを全て（すき間が）均等になるように①→②→③→④→①→②...の順に4つのボルトを少しずつ締めていきます。

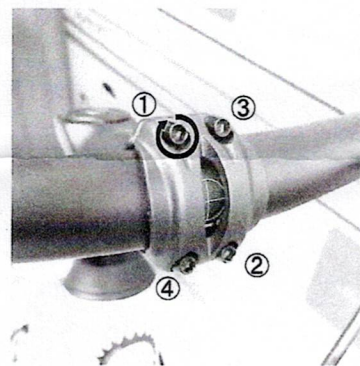
【ハンドルの取り付け】



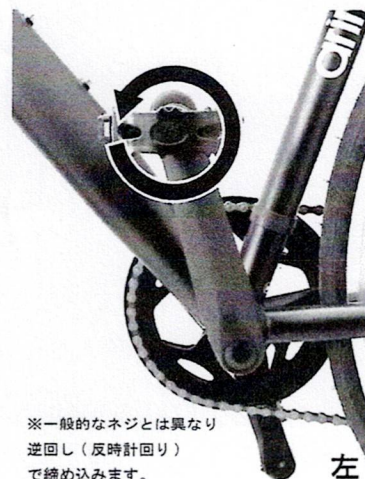
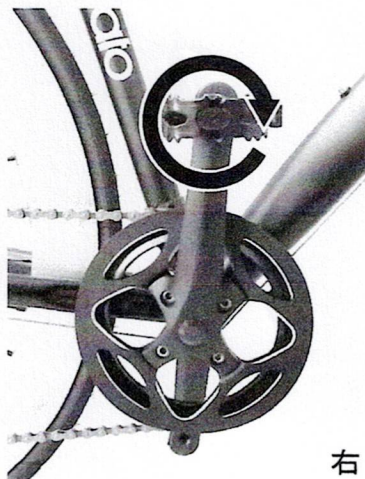
- ステムを固定します。
 がたつきが無くなる程度に先にアンカーボルトを締め次に上下クランプボルトを交互にしっかりと締め付けます。

※クランプボルトはしっかりと締め上げて下さい。
 アンカーボルトは型を取る際の調整ボルトですので締め過ぎないようにご注意下さい。

※緩み止め剤が塗布されているため固いボルトがある場合は最初にゆっくりと奥まで締め上げると以後スムーズになります。



【ペダルの取り付け】



- ペダルの軸の刻印で右用(R) 左用(L)を確認します。
 工具を使い図のように右ペダルは時計回り、左ペダルは反時計回りにしっかりと奥まで締め上げます。

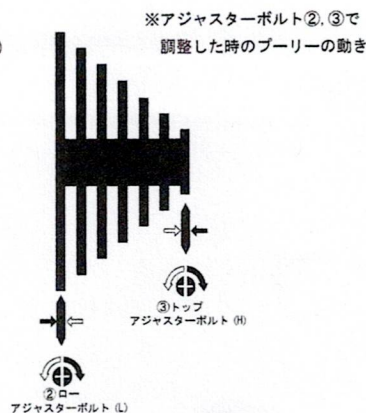
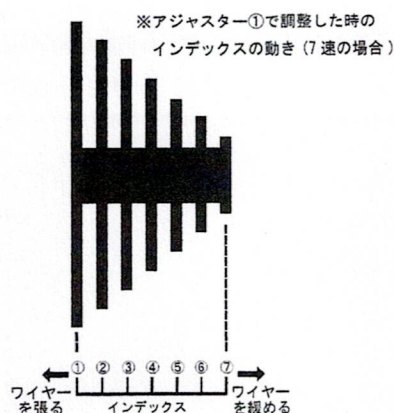
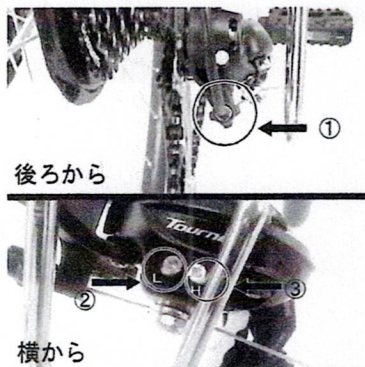
※最初は手で回し、途中から工具で締めます。最初から工具で締めると角度が悪いままに締まりクランク側のネジ山が壊れる可能性がありますのでご注意下さい。

※ペダルは奥までしっかりと締めて下さい。ペダルが緩いまま乗車することでクランク側のネジ山が破損する可能性がありますのでご注意下さい。

※一般的なネジとは異なり逆回し（反時計回り）で締め込みます。

【その他の調整】

・ギアの調整



【シフトワイヤーのテンションが緩い場合の症状】

- ・1速に入らない
- ・小ギア→大ギアへ変わりにくい (7速から6速にチェンジしにくいなど)

●調整方法 ①のアジャスターを反時計回りに回します。(ワイヤーを張ります)

【シフトワイヤーのテンションが強い場合症状】

- ・7速に入らない
- ・大ギア→小ギアへ変わりにくい (1速から2速にチェンジしにくいなど)

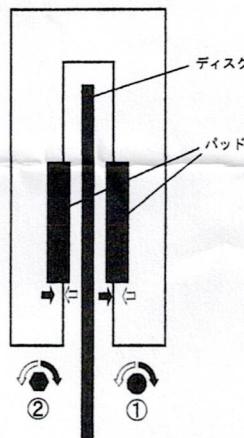
●調整方法 ①のアジャスターを時計回りに回します。(ワイヤーを緩めます)

※少しづつ (1/4回転ほど) 回し、確認しながら調整下さい。

※症状によりますが、まずは①のアジャスターで調整下さい。

①のアジャスターで改善しない場合は②、③のアジャスターボルトをお試し下さい。

・ブレーキの調整



【ブレーキパッドの調整】

※本来は調整済ですので組立後パッドがあたるようでしたらまずはタイヤが真っ直ぐに装着されているか確認の上、調整を行って下さい。

- ①、②に、をそれぞれまわしますと図のようにパッドが移動します。

※ブレーキの形状によりブレーキレバー側のアジャスター (①) が無い場合はブレーキ本体側にもアジャスターありますのでそちらで微調整下さい。

【乗る前の最終チェック】

- フロントフォークが前後逆に装着されていませんか？

間違った組立のまま走行されますと事故や破損の原因にもつながりますので上記画像をご参照の上、正しく組立下さい。

- ペダルはしっかりと固定されていますか？

ペダルの装着がゆるい状態で走行されますとネジ山の破損 (ペダルがぐらぐらになる) 原因につながります。

- 前輪クイックリリースレバーはしっかりと固定されていますか？

ゆるすぎると脱輪の原因になります。最後にレバーを手のひらを使って締め上げる程度の力加減で締め上げて下さい。

- タイヤの空気圧は十分ですか？

商品到着時は必ずしも十分に空気が充填されているとは限りません。

空気圧が低いまま乗車されるとパンクの原因となりますのでご注意くださいませ。

・製造工程上の理由より商品に細かな埃のようなものが付着している場合が御座います。予めご了承下さいませ。

・入らない、動かないなどが御座いましたら決して無理をしないで下さい。(組立時に破損した場合は保障対象外となりますのでご注意ください。)

・初めてご乗車される際には必ず交通量の少ない道路で低速での慣らし走行を行って下さい。誤ったご使用による事故および破損は保証外となりますのでご注意くださいませ。

取扱説明書をご参考頂き正しいご理解と安全なご使用をお願いいたします。

その他、ご不明な点など御座いましたら右記宛にご連絡下さいませ。

ANINTO アニマト株式会社

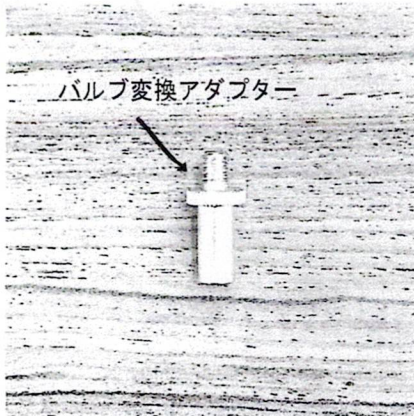
〒570-0043 大阪府守口市南寺方東通 5-23-3

営業時間 10:00 ~ 17:00 (土日祝を除く)

TEL: 06-6996-3800 FAX: 06-6996-3801

E-Mail: info@animatocycle.com

URL: http://animatocycle.com



「バルブ変換アダプター」はフレンチバルブの機種に
ひとつだけサービスで付属しております。

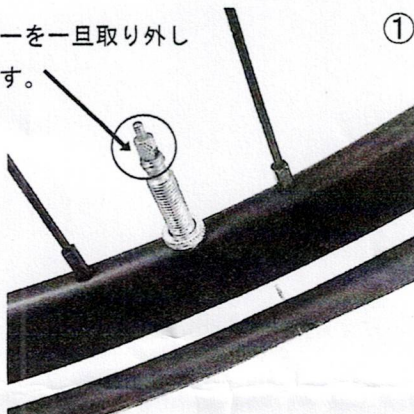
フレンチバルブ用の空気入れをお持ちの場合は必要御座いませんが
国内で一般的に使用されている空気入れ（英国式）をお使いの場合
ご利用頂けるパーツとなります。

※後輪のバルブに付属しております。

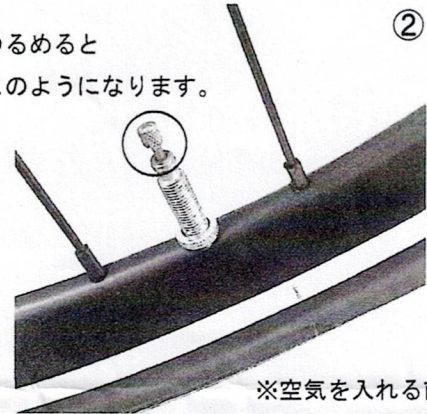
取り外して前後どちらでもご使用頂けます。

【空気の入れ方】

バルブ変換アダプターを一旦取り外し
この部分をゆるめます。

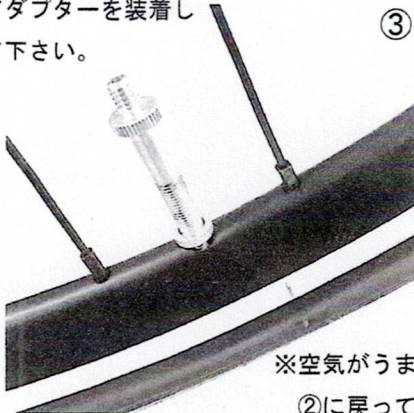


※ゆるめると
このようになります。



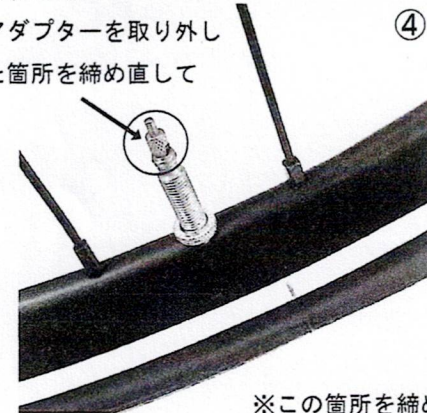
※空気を入れる前に
上から一度だけ押して
プシュッと空気を通して下さい。

バルブ変換アダプターを装着し
空気を入れて下さい。



※空気がうまく入らない時は
②に戻って”ゆるめ具合”を
調整してみてください。

空気を入れ終わったら
バルブ変換アダプターを取り外し
①でゆるめた箇所を締め直して
下さい。



※この箇所を締め忘れると
空気が抜けてしまいます。

【ワンポイント】

一般車と比べて”細いタイヤ”ほど適正空気圧が高く
空気の減少は早くなります。

空気圧が低すぎるとタイヤやチューブを傷めやすく
パンクの原因となりますので
こまめな空気の充填を心掛けましょう。

ANINTO アニマト株式会社

〒570-0043 大阪府守口市南寺方東通 5-23-3

営業時間 10:00 ~ 17:00 (土日祝を除く)

TEL: 06-6996-3800 FAX: 06-6996-3801

E-Mail: info@animatocycle.com

URL: http://animatocycle.com